

働き方改革と社員満足

金子 昌 弘
(株式会社エム・エス・アイ)
代表取締役社長



最近、「働き方改革」という言葉が社会現象となってクローズアップされてきています。

大手企業の女子社員が長時間労働を強いられ自殺した痛ましい事件から、世間が注目し政府や企業が労働改革・改善していこうとするその気運が高まっています。

「働き方改革」というのは、長時間労働を是正することだけではなく、我が国の労働社会の様々な問題・課題を改革していくことに他なりません。

我が国は少子高齢化がますます進み、労働人口が急激に減少していく中で、今後は働き手として高齢者や女性の活用、外国人の採用などに期待が集まっています。

このような労働社会が構築されていくには働き方の多様化と生産性の向上が求められます。

「働き方の多様化」は高齢者や女性に活躍してもらうために必要であり、生産性を向上させるためにも大きな課題であります。

我が国の就業者1人当たり労働生産性はOECD加盟国の中では21位であり、1位のアイルランドの二分の一、3位のアメリカの三分の二であり、先進7カ国では最下位という状況です。

労働市場においては、高齢者や女性の活躍の場はまだまだ少ない状態であり、外国人労働者にも開かれた理解のある環境にはなっていません。

これらの問題・課題を解決する一つの手段として、「テレワーク」という言葉が注目されてきています。テレワークとはtele（離れた場所）とwork（働く）を合わせた造語であり、いろいろな企業や職場で導入が進んでいます。

雇用型テレワークとしては次の3つの形態があります。(1) 在宅勤務=オフィスに出社せず自宅で仕事をする形態。(2) モバイルワーク=顧客先、移動中カフェなどで仕事をする形態。(3) サテライトオフィス勤務=所属オフィス以外の他のオフィスや遠隔勤務用の施設で仕事をする形態。

これらを活用すれば、高齢者や女性にも柔軟な勤務形態が実現可能となり、ITを活用して場所や時間を問わず生産性を高めていくことができます。

このようなことは逐次大手企業では導入が進んでおり、我々中小企業には大分先の話のように聞こえますが、私は中小企業こそ、今現在取り組んでいかねばならない重要な課題だと

思っています。

中小企業は年々採用が厳しくなっており、優秀な人材どころか数においても採用が難しくなっています。

社員の確保ができず、休みが増え実働日数が少なくなり、長時間労働も是正していかなければならない状況が今後ますます求められてきます。量的確保ができない上に、質的にも優秀な社員の採用は厳しく、生産性においても中小企業は大企業に大きく差をつけられています。

今こそ、中小企業はこの「働き方改革」に真剣に向き合わなければならない時であります。

ここで、我が社の取り組みを若干ご紹介させていただくことをお許し願います。

我が社は東北山形のIT企業であります。年商9億円、従業員60名の中小の会社です。会社設立以来、採用活動には積極的に取り組んでおり、社員教育でも人間性・人間力を高めるためのユニークな教育を導入しています。全社員でのトイレ清掃・座禅・ラジオ体操・テレビドラマ「ルーズヴェルト・ゲーム」「下町ロケット」の全編鑑賞等。

我が社は優秀な技術者を必要としている中で、ここ数年採用には大変苦心しています。外国人採用には他の中小企業に先駆け十数年前から取り組み、現在は外国人は1名になってしまいましたが一時期4名の外国人が在籍していました。当時は地方の中小企業では珍しい存在でした。

近年、外国人留学生は大手志向になり地方の中小企業にはなかなか入社してもらえませんが、今後も積極的に外国人採用を行っていくつもりです。

また、IT企業ということもあり「テレワーク」にも積極的に取り組んでいます。

家庭の事情で退社を希望していた社員を在宅勤務させたり、県外に2カ所のサテライトオフィスを設置し、テレビ会議システム等を導入して朝礼やミーティングを行っています。もちろん、いろいろな最近のシステムを導入し、モバイル端末を駆使して「モバイルワーク」も実現しています。

今年度の二大事業として社内に「ブランディング（企業価値のブランド化）プロジェクトチーム」と「生産性アッププロジェクトチーム」を立ち上げ、社員の積極的な参加のもと、社内改革と社員の意識改革にチャレンジしております。

しかしながら、いろいろな改革を成し遂げる最終目的は「お客様満足」と「社員満足」にあると思っています。企業が存続していく意義の一つは社会に貢献し必要とされ、その事業や取引においてお客様に喜んでいただき満足していただくこと。もう一つは社員が会社に誇りを持ち、やり甲斐、働き甲斐を持ってこの会社に勤めて良かったという社員満足、この二つが会社の成長・発展の原動力だと思っています。

特に我が社は「自分の会社に誇りを持たず、不平不満を持ち自分の会社に満足していない社員がお客様に満足していただき喜んでいただくことなど絶対にできない」との考えから、社員満足の向上に大きな力を注いでおります。

“小さくともキラリと光る会社”を目指す。そんな想いで日々事業経営に勤しんでおります。我々中小企業が「働き方改革」「社員満足」というテーマを実現していくには、難しい問題・課題が山積していますが、今こそこれらにチャレンジしていくことが成長・発展に繋がるものと確信しております。